

# J A 自己改革推進レポートについて

令和元年10月25日  
J A 鳥取県中央会

## 1. J A 経営基盤の確立・強化にかかる意見交換会

- (1) 令和元年10月8日(火)に「全中・農中とのJ A 経営基盤の確立・強化にかかる意見交換会」を倉吉未来中心にて開催した。全中の比嘉専務および農中の松永常務、宇都宮部長を招き、全国的な情勢や検討方向等について説明を受け、意見交換を実施した。
- (2) 意見交換では、経営基盤強化に向けて(一社)全中が指導力をどう発揮し指針を示すのか、今の金融情勢の中でのJ Aバンクとしての今後の経営戦略の考え方や具体的な取り組み等について意見が交わされた。
- (3) 今後、全国で行われた意見交換を基に全国での対応方向が整理・具体化が検討される。本県においても、これらを参考に「J Aグループ鳥取組織・事業機能改革」での協議を踏まえつつ、「持続可能なJ A 経営基盤の確立・強化」の取り組みを進めていく。

### 【全中・農中とのJ A 経営基盤の確立・強化にかかる意見交換会】

- |         |  |
|---------|--|
| 1. 開催日  | : 令和元年10月8日(火)   |
| 2. 出席者  | : 総合J A・信連・中央会(常勤役員)、全農・共済連(本部長・副本部長)<br>全中、農林中金、事務局<br>計35名                                       |
| 3. 主な意見 | : (1)全中・農林中金としての具体的な改革案について<br>(2)農林中金の今後の方向性(金利や貯金量、人員など)について<br>(3)(一社)全中としての今後の経営相談機能の発揮について など |

## 2. J A 自己改革実践状況

### (1) J A 鳥取いなばの取り組み

#### ① 岩美南小学校が梨の栽培学習で収穫

岩美町立岩美南小学校3年生は9月18日、同校敷地内の梨園で「二十世紀」を収穫した。梨の栽培指導を行ったJ A 鳥取いなば岩美支店の職員のほか、連携教育の一環で県立岩美高校の生徒も参加し、収穫の喜びを分かち合った。同J A職員は、食農教育の一環で栽培指導し、地域の農家も病害虫防除や剪定などでサポートしていた。



## ② 女性会福部支部がミニデイサービス実施

J A鳥取いなば女性会福部支部は9月27日、福部町社会福祉協議会が運営する「ふれあいサロン」と協力し、ミニデイサービスを開いた。地域貢献活動の一環で行っており、今年で3回目となった。福部町にある砂丘温泉ふれあい会館で、8人のサロン利用者とゲームをし、女性会員手作りの昼食を食べて交流した。



## ③ 子ども農業教室で「星空舞」を稲刈り

J A鳥取いなばは10月5日、第5回子ども農業教室を鳥取市で開き、鳥取県オリジナルブランド米「星空舞」の稲刈り体験を行った。食農教育の一環で行い、同J A新規採用職員も参加した。子どもたちは、鎌の使い方や稲刈りの注意点を教わり、保護者やJ A職員のサポートを受けて稲刈りを楽しみ、知識を深めた。



## ④ 女性大学ルシールでそば打ち体験

J A鳥取いなばは9月19日、女性大学「ルシール」第3回講座を鳥取市鹿野町で開いた。鹿野町にある鹿野そば道場で、同町産のそば粉を使ったそば打ち体験をしたほか、城下町の風情が残る町内を散策。同町の名物で地産地消と歴史を学んだ。



## ⑤ 白ネギほ場巡回

J A鳥取いなば郡家支店白ねぎ生産部は9月30日、白ねぎ巡回指導会を八頭町で開いた。白ねぎのほ場を巡回して生育状況を確認し、病害虫防除や排水対策などを指導。生産者6人が参加し、同J A営農指導員にアドバイスを受けた。



## (2) J A鳥取中央の取り組み

### ① 利便性向上へ新拠点「J A全農とっとり 中央物流センター」稼働開始！

10月1日、J A鳥取中央横田肥料物流センター敷地に建設したJ A全農とっとり中央物流センターが稼働開始した。J A鳥取中央はピッキング作業により予約品を配達区域ごとに仕分け、配達業務および在庫管理業務を全農に委託し、効率的な仕分け業務と流通のスリム化を行う。この仕組みにより、J Aは管理作業の削減と物流在庫管理を一元化することが可能となった。管理作業効率化によって創出した時間を営農指導へ注力することにより、組合員満足度の向上にもつなげる。



物流改革の実施により、配送体制の確立や将来にわたって継続できる体制を構築し、統一したサービスの提供を目指す。

### ② 中国四国5 J A「中央サミット」が協定書に調印！

J A名に「中央」と付く中国四国地方の5 J Aが連携するJ A中央サミットの調印式が10月9日、広島県廿日市市で開かれた。鳥取県の鳥取中央、愛媛県のえひめ中央、広島県の佐伯中央、広島中央、J A山口県(旧J A山口中央)で構成され、各J Aの組合長などが「事業連携協定書」と「災害時支援協定書」に署名し、一層の連携を強化する。また、中国四国以外の「中央」が付くJ Aにも参加を呼び掛けていくことも確認した。



### ③ J A鳥取中央グループ全従業員研修を開催！

J A鳥取中央は10月2日から4日までの3日間、本所で全従業員研修を開催した。J A職員ならびにJ A子会社社員を含め約900人が参加し、コンプライアンス、人権啓発、情報セキュリティの3つの研修を実施した。

コンプライアンス研修では「不祥事事例の傾向について」と題し、J Aにおける不祥事発生状況や未然防止策などを学んだ。

栗原組合長は『情報通信技術が発展する社会において情報セキュリティに対する知識を持ち、



認識を高めてほしい』と話した。

#### ④ 第9期女性大学「ルミナール」入学式を行う！

10月7日、第9期目となる女性大学「ルミナール」の入学式を開き、15人が入学した。今後、野菜の栽培・収穫体験や親子で肉料理、ハンドメイド教室などのカリキュラムを体験する。学長を務める栗原組合長から、受講生代表が学生証を受け取り『人とのつながりを広げ、経験を積み、よりすてきな女性になりたい』と抱負を述べた。



### (3) JA鳥取西部の取り組み

#### ① 米子中央支所終活セミナー

8月20日、中海葬儀社「米子北メモリアルホール」にて終活セミナーを開催し、車尾女性会会員24名が参加した。

講師に上級終活カウンセラーの石田ヒロミ氏を招き「家族葬について」お話をいただいた。

ほとんどの参加者の方が「家族で簡単に葬儀ができる」というイメージをもって参加されていたが、実際の家族葬についての話を聞くと

『もっと簡単に考えていた』『新しい発見があった』『家族と相談します』などの感想が多数あった。

終活の講演後は、LAが「自動車共済の仕組と特約」「相続手続きの流れ」について話をし好評だった。今後とも組合員の関心の強いことにアンテナを向け、正しい情報を発信していけるように活動していく。



### (4) JA全農とっどりのJA自己改革の実践

#### ① 「共同購入トラクター」第2弾

生産資材コストを削減し生産者の所得向上を目標に取り組む「トラクター共同購入」第2弾として、「中型トラクター（28～35馬力クラス）共同購入」の事前申込みを開始している。生産者が求める機能とともに中型トラクターの開発をメーカーに要求し、令和2年10月からの供給を目指す。

今秋より生産者からの購入見込みアンケートを実施し、令和2年2月末までに台数を取りまとめる。全農のスケールメリットを活かしてメーカーから一括購入することで生産者の購入価格の引き下げにつなげる。

## (5) ちょきんぎょカップ少年サッカー大会を開催（JA鳥取信連）

JAバンク鳥取は、令和元年9月21日、22日の両日“JAバンク鳥取ちょきんぎょカップ”第22回鳥取県少年サッカー大会を東郷運動公園多目的広場を主会場として開催した。

この大会は、「たくさん子ども達にサッカーの楽しさを知ってもらい、多くの人々と交流を深め、夢を持ち続け心豊かな人間となってくれること」を目的とした小学4年生以下の大会。JAバンク鳥取では、この大会を通じて、JAバンク鳥取のPR・地域貢献、更には子育て世代の保護者との取引拡大を目的として、この大会を共催し、今年で11年目となる。大会には、JAの金融担当部長や、参加チームの管轄店舗の支所（店）長、金融担当課長の出席を得て、記念品・参加賞の贈呈のほか、管轄チームの応援を行った。

JAバンク鳥取は、地域と共に発展してきた組織として、地域貢献を使命と考え、地域に根差した活動を今後もサポートしていく。

## (6) 迅速な「ペーパーレス手続き」「キャッシュレス手続き」で利用者に満足（JA共済連鳥取）

JA共済では、JAと連合会による一体的事業運営を深化させ、組合員・利用者との関係を強化し、強固な事業基盤の確保を目指した取り組みを行っている。

その中の一つである「事務負担軽減の追及」として、携帯用端末機（タブレット）を活用したペーパーレス手続きや決済専用機器を活用したキャッシュレス手続きの拡大を図り、迅速で確実な手続きをすすめることで利用者からの利便性向上と利用者対応力の強化を図っている。

ペーパーレス手続きは、平成28年4月から段階的に導入し、現在では主要となる共済種類で新契約の引き受けと一部の異動の手続きが可能となっている。

決済専用機器を活用したキャッシュレス手続きでは、平成30年12月より系統内口座での利用も可能となり、また平成31年4月にはデビットカード払も導入し、契約者の利便性をさらに高めている。

今後もAIなどの新技術を活用した事務手続きの簡素化・標準化をすすめ、契約者・利用者の利便性向上をはかるとともに、利用者対応力のさらなる強化を目指していく。

【ペーパーレス手続き状況推移】(新契約)

	H29.3	H30.3	H31.3	R1.8
生命新契約	33.7	60.3	73.6	83.1
建更新契約	-	72.4	86.4	91.0
自動車新規	-	34.6	56.1	67.9
自動車継続	-	17.7	50.7	91.9

※生命新契約についてはH28年度から導入。

